

# 事業評価シート（平成24年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	風水害対策事業		
事業担当	防災危機管理部 災害対策課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	'01	①〈安全〉災害に強い安全なまちづくりを進める	
	'02	2 被害を最小限に抑える防災の環境を充実する	
根拠法令等	水防法		
対象・受益者	水防団員、市民	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
目的・目標		事業の概要	
防災気象情報システムによる局地的な大雨などの気象情報等の迅速な提供、土砂災害ハザードマップなどにより風水害時の減災対策が充実しています。		風水害時に市民の生命・財産の保全を図るため、水防体制を整備しつつ、防災気象情報システムにより、局地的な大雨等の気象情報等を迅速に提供します。また、土砂災害ハザードマップを作成するほか、急傾斜地崩壊対策を促進します。	

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名	警報発表時の情報提供手段数			単位	回線
	説明・算定式	防災行政用無線、ほっとメールひらつか、ひらつか防災気象ウェブ、iFAX(水防法第15条)、iFAX(土砂災害警戒情報)、エリアメール、ツイッター、TVKデータ放送、市ホームページ(平成24年度から)				
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標			7	9	
	実績		9			
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	防災テレフォンガイド利用者数			単位	人
	説明・算定式	警戒発表1回当たりの年間平均利用者数(平成24年度から)				
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標			10	9	
	実績		5.5			
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成24年度の主な取組と成果						
台風等の発生に伴う風水害に対応するとともに、水防団による河川の巡視等の水防活動を実施したほか、知識習得等のための研修会を実施しました。また、災害対応時等の情報配信に努めました。						
平成24年度の検証結果	A：成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	市域には多くの河川があるため、風水害時の河川の氾濫を警戒し、被害を軽減するため、河川巡視活動は必要です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	洪水に対する河川巡視活動をきめ細かく行うことで、市民の安心・安全を確保することの有効性が高い事業です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	河川の状況をよく知る水防団員と行政が連携を図って、水防対策に臨むということの妥当性が高い事業です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	水防団員が、それぞれの河川の特性に応じたチーム編成による巡視活動を行うことで、効率化を図ります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
<b>今後に向けた課題の分析</b> 水防団員の高齢化等に伴う人材確保等の問題も含め、他の自治体等の河川巡視活動も参考にして水防団の今後のあり方を検討する必要があります。				

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 予算額
事業内容				市民への情報発信体制の拡充、防災体制指標の発表基準の見直し等	防災気象情報システムの改修、急傾斜地崩壊対策の促進等
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	6,000	7,000
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	8,457	12,605
事業費 (A)		0	0	14,457	19,605
執行率 (%)		—	—	97.97	
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.95	1.40
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.10	0.35
人件費 (B)		0	0	7,955	12,318
フルコスト (A+B)		0	0	22,412	31,923

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

<b>平成26年度の取組方針</b> 土砂災害防止法に基づく基礎調査(神奈川県が実施)による土砂災害警戒区域等の設定をもとに、土砂災害ハザードマップを作成し、周知の徹底を図ります。
<b>課長コメント</b> 水防体制を整備し、防災気象情報システムによる気象情報を収集するとともに、市民に迅速に情報を提供します。